

食流機構

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構
<http://www.ofsi.or.jp/>

2021

1 月号

No.301

OFSI

I N D E X

- | | |
|---|---|
| 年頭のご挨拶 | ② |
| 「令和 2 年度輸出に取り組む優良事業者表彰」受賞者決定 | ③ |
| ジビエ産地見学・商談会（山梨） | ④ |
| 地方卸売市場の都道府県認定状況について | ⑤ |
| 第 29 回 優良経営食料品小売店等表彰事業
日本政策金融公庫総裁賞受賞店のご紹介＜ 3 ＞ | ⑦ |
| 「農林水産統計情報」
生鮮取引電子化推進協議会オンラインセミナーの配信について | ⑧ |

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、当食流機構の諸事業に対し、一方ならぬご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続きご指導・ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は、世界的に新型コロナウイルスが猛威を振るい、そのため大きな社会的混乱が生じました。これほどの世界的な疫病の感染蔓延は、1918年のスペイン風邪以来なかった事態なので、各国政府も多くの事業体もまた個人も的確な対応ができずに年末を迎えるというまさに百年に一度の災難の年でした。

わが国においても、中央政府も、都道府県も確たる展望を持てないまま変化する状況に対応をせざるを得ず、やむを得ないこととはいえ、遅すぎたとか的外れだとか批判されるような対策もあり、かえって混乱を増すことさえあったと思われます。

食品流通業界におきましても、感染が第一波、第二波、第三波と波状的に拡大する中で、多数の小売・外食店などの事業者が休業や時間短縮を余儀なくされ、事業経営やそれに従事する人々の生活に大きな影響を及ぼしました。しかし、一方で地域的に違いはあるものの郊外型のスーパーや食品スーパーなどでは食品販売が拡大するとか宅配や通販の食品取り扱いが増加するなどもあり、他の産業に比べれば全体が大きく落ち込むということはなく、中にはいち早く変化に対応し、事業を拡大できた事業者もあったと思われます。また、外出自粛や人との接触回避のため、買い物代行、宅配サービス、スマホのアプリを使っただけの注文・決済など新しい流通スタイルが人々に受け入れられる等今後コロナ禍が収まっても新しい生活スタイルとして定着しそうな状況も現れてきたと思われます。

令和3年が始まるにあたって、コロナの感染拡大がいつまで続くのか、オリンピック・パラリンピックはどうなるのか、経済状況はどうなるのかなど多くの問題が見通せない中で、新年の展望とか希望を申し上げにくい状況にありますが、あえて申し上げれば、おそらくコロナ禍を克服したのちの社会ではこれまでとは異なる生活スタイルが生まれ、場合によっては社会の在り方も変わるのではないかと思います。したがって事業者の皆様は、このコロナ禍のなかで生まれてきた新しい仕事の在り方や物流の変化を注視し、百年に一度の大災厄のあとにはどのような社会状況や生活スタイルが生まれるのか、その中で食品流通はどうなるのかを考え、この混乱の中で何らかの新しい事業の方向を見つけ、それに向かってチャレンジする年にしていきたいと思っています。

当機構といたしましては、食品流通業界の発展のためにこれまでの諸事業の円滑な実施に取り組むことと併せて国が行うコロナ感染対策のうち食品流通業や食品産業にかかわるものがあれば少しでもそれに取り組み、皆様のお役に立てるよう全力を上げて努力してまいりたいと思っています。

本年が、皆様にとって、コロナ禍を克服し、事業の一層のご発展とご繁栄の年となりますようご祈念申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年 元旦



公益財団法人 食品等流通合理化促進機構
会 長 馬 場 久萬男

「令和2年度輸出に取り組む優良事業者表彰」受賞者決定

当機構では、本年度、農林水産省の補助を受け、輸出に取り組む事業者のうち優れた事業者に対して表彰を行い、その取組内容を広く紹介することによって、我が国の農林水産物・食品の輸出を促進することを目的として「輸出に取り組む優良事業者表彰」を実施しました。その表彰式典を、菅内閣総理大臣ご臨席の下、12月11日（金）ザ・キャピトルホテル東急（東京都千代田区）にて開催いたしました。（農林水産物等輸出促進全国協議会総会において日本食海外普及功労者表彰とともに表彰）各賞の受賞者は下記の方々です。

令和2年度（第5回）輸出に取り組む優良事業者表彰 受賞者

農林水産大臣賞（4点）		
受賞者名（敬称略）	取組内容	所在地
株式会社柴沼醤油インターナショナル	日本の伝統を守り、現地の嗜好にあわせ商品開発	茨城県つくば市
株式会社築地太田	世界中の飲食店と豊洲をダイレクトに繋ぐweb受注	東京都江東区
株式会社ミトク	世界40ヶ国に伝統的な日本の食品を紹介・販売	東京都港区
東亜食品工業株式会社	安心安全を強化、世界の富裕層に日本の乾麺！	兵庫県姫路市

農林水産省食料産業局長賞（6点）		
受賞者名（敬称略）	取組内容	所在地
稚内東部株式会社	北海道ブランドとして魚介類を世界に届ける！	北海道稚内市
出羽桜酒造株式会社	香り豊かな吟醸酒の魅力を世界中に発信	山形県天童市
株式会社ウオショク	雪室で熟成させる加工方法で牛肉を高付加価値化	新潟県新潟市
井村屋グループ株式会社	米国向け日本産アイスのシェア8割を獲得	三重県津市
あづまフーズ株式会社	寿司ネタにとどまらず独自の商品展開で市場を開拓	三重県三重郡菰野町
株式会社和田萬	世界に本当のおいしさを届ける「世界一焙煎」技術	大阪府大阪市

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構 会長賞（4点）		
受賞者名（敬称略）	取組内容	所在地
（一財）北海道食品開発流通地興	北海道産品の海外販路を開拓し輸出をサポート	北海道函館市
株式会社 epoc トレーディング	仕入・輸出入・現地販売をグループで一貫流通！	東京都港区
奥飛騨酒造株式会社	日本酒を気軽に楽しめる定番酒として提案	岐阜県下呂市
さとの雪食品株式会社 / 四国化工機株式会社	現地の食生活に合わせた製品開発を継続！	徳島県鳴門市 / 徳島県板野郡北島町



農林水産省補助事業：外食・中食等における国産食材活用促進事業

ジビエ産地見学・商談会

外食・中食事業者によるジビエ食材の加工施設等の視察、ジビエ取扱業者との懇談・マッチングなどを行う『ジビエ産地見学・商談会』について、先月号に続き山梨県での見学内容についてお知らせいたします。

- 11月26日（木）富士山麓ジビエ（富士河口湖町）/ ハケ岳ジビエ（北杜市）
両施設とも山梨県による「やまなしジビエ（シカ肉）認証を取得しています。



▲富士河口湖町ジビエ処理加工施設内での説明。



▲富士河口湖町では「シカ肉のコース（オス1日熟成 / メス4日熟成）」と「シカ肉のもも丸焼き」を試食しました。



▲明野ジビエ肉加工処理施設屋外にて試食と説明。



▲明野ジビエ肉加工処理施設内を見学。

<問い合わせ先> 業務部 田中・杉本 TEL：03-5809-2176 E-mail：ofsi@ofsi.or.jp

ー山梨県主催：プロ向け「やまなしジビエ料理セミナー」のご案内ー

山梨県でジビエに精通した辻調理師専門学校の講師陣による料理セミナーが開催されます。
セミナーの内容は、山梨県におけるジビエに対する取組の紹介、おいしいジビエ料理を提供できるようにするための必要な知識と調理技術等の伝授です。また山梨県産ワインの提供もあります。
調理師等でご興味のある方は是非お申込みください。

東京会場 令和3年1月12日13時00分～ <参加費：無料>

※申込締切は12/28までですが、定員に達していない場合は申込可能ですのでお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ・詳細はこちら> https://www.pref.yamanashi.jp/nou-han/gibier/gibier_seminar.html

地方卸売市場の都道府県認定状況について

令和2年6月21日に改正卸売市場法が施行されたことで、各都道府県では同法第13条第1項の規定に基づく地方卸売市場の認定を順次行いホームページなどで公開しています。

今回は、現在公開されている近畿地域、中国地域（山陰）の認定状況第5弾をご紹介します。（表内の年月日については、各都道府県広報誌等やホームページの公表日としております。）

注）改正卸売市場法第13条第1項…卸売市場であって第5項各号に掲げる要件に適合しているものは、当該卸売市場の所在地を管轄する都道府県知事の認定を受けて地方卸売市場を称することができる。

都道府県名	地方卸売市場名	
滋賀県 ＜令和2年6月30日現在＞	・大津市公設地方卸売市場 ・東近江市八日市公設地方卸売市場 ・滋賀食肉センター地方卸売市場 ・彦根総合地方卸売市場 ・長浜地方卸売市場	
京都府 ＜令和2年6月21日現在＞	・京都府南部総合地方卸売市場 ・京都市花き地方卸売市場 ・京都南部地方卸売市場 ・地方卸売市場牧野青果株式会社 ・城南青果地方卸売市場 ・福知山市公設地方卸売市場	・京都府北部地方卸売市場 ・舞鶴地方卸売市場 ・宮津地方卸売市場 ・網野地方卸売市場 ・間人地方卸売市場 ・伊根地方卸売市場
大阪府 ＜令和2年7月1日現在＞	・大阪木津地方卸売市場 ・丸池地方卸売市場 ・丸北地方卸売市場 ・地方卸売市場大阪促成青果 ・城東青果地方卸売市場 ・大阪丸五青果地方卸売市場 ・木村青果地方卸売市場 ・堺七道青果地方卸売市場 ・堺市立青果地方卸売市場	・大阪南部合同青果地方卸売市場 ・岸和田綜合食品地方卸売市場 ・泉地方卸売市場 ・泉州岸和田水産物地方卸売市場 ・佐野地方卸売市場 ・大阪花き園芸地方卸売市場 ・地方卸売市場天王寺生花 ・大阪鶴見花き地方卸売市場 ・大阪泉大津花き地方卸売市場
兵庫県 ＜令和2年7月現在＞	・尼崎市公設地方卸売市場 ・西宮東地方卸売市場 ・西宮市食肉地方卸売市場 ・明石市公設地方卸売市場 ・加古川市公設地方卸売市場 ・兵庫県加古川食肉地方卸売市場 ・株式会社西脇市地方卸売市場 ・姫路市食肉地方卸売市場	・姫路生花地方卸売市場 ・飾磨水産物地方卸売市場 ・豊岡中央青果地方卸売市場 ・豊岡水産物地方卸売市場 ・丹波市立地方卸売市場 ・淡路日の出農協津名地方卸売市場 ・淡路日の出農協一宮地方卸売市場 ・南淡路地方卸売市場

都道府県名	地方卸売市場名	
和歌山県 ＜令和２年１２月１４日現在＞ ※公表日ではなく掲載確認日	・丸共海南地方卸売市場 ・橋本地方卸売市場 ・有田地方卸売市場 ・有田箕島漁業協同組合地方卸売市場 ・湯浅湾漁業協同組合地方卸売市場 ・日高地方卸売市場 ・比井崎漁業協同組合地方卸売市場 ・御坊市地方卸売市場 ・印南町地方卸売市場 ・みなべ町地方卸売市場（本場・支場） ・南紀田辺地方卸売市場 ・和歌山南漁業協同組合田辺地方卸売市場 ・和歌山南漁業協同組合すさみ地方卸売市場 ・新宮広域圏公設地方卸売市場 ・地方卸売市場新宮丸紀協同組合 ・和歌山東漁業協同組合南紀串本地方卸売市場 ・太地町漁業協同組合地方卸売市場 ・勝浦地方卸売市場 ・宇久井漁業協同組合地方卸売市場	
鳥取県 ＜令和２年１２月１４日現在＞ ※公表日ではなく掲載確認日	・鳥取市公設地方卸売市場 ・地方卸売市場倉吉青果株式会社 ・地方卸売市場倉吉魚市株式会社 ・地方卸売市場株式会社米子青果 ・地方卸売市場東亜青果株式会社 ・地方卸売市場境港青果市場 ・鳥取県営境港水産物地方卸売市場 ・鳥取県漁業協同組合賀露地方卸売市場 ・鳥取県漁業協同組合網代港地方卸売市場 ・田後漁業協同組合地方卸売市場 ・赤碕町漁業協同組合地方卸売市場	
島根県 ＜県報告示 126号 7月27日分＞ ＜県報告示 128号 7月31日分＞ より	・松江連合青果地方卸売市場 ・松江合同青果地方卸売市場 ・浜田青果地方卸売市場 ・出雲総合地方卸売市場 ・益田青果地方卸売市場 ・大田青果地方卸売市場 ・島根花き地方卸売市場	・松江水産物地方卸売市場 ・益田水産物地方卸売市場 ・浜田水産物地方卸売市場 ・大社水産物地方卸売市場 ・ＪＦしまね大田水産物地方卸売市場 ・松江中央水産物地方卸売市場

訂正

11月号（No.299号）5頁で、埼玉県の認定状況についてご紹介しましたが、下記４社は現在「認定未定」です。

・小川中央青果市場 / ・加須海陸物産市場 / ・松原青果市場 / ・本庄青果市場

第29回 優良経営食料品小売店等表彰事業 日本政策金融公庫総裁賞受賞店のご紹介＜3＞

有限会社青山商店 島根県松江市（蒲鉾製造小売店）

厳選された原料と江戸時代から続く炭火による製法を貫く



島根県沖を中心に水揚げされる新鮮な魚を材料に、添加物を使用しない、素材を活かした蒲鉾造りを行っている。暫く行われていなかった地伝酒を使った製法を、1994年に地元商工会他の協力を得て地伝酒を復活させ、それを蒲鉾に合うように調整して旨味を引き出し、飛魚の生すり身に練り合わせて焼き上げたのが「地伝酒あご野焼き」である。

店舗ではこのあご野焼炭火焼きを体験でき、その場で焼きたてを食べることもできる。地元の小学校では自由研究にも使われており、小学校が発行する「学級通信」等にレポートしてまとめられている。地元の子供や観光客が、体験を通してこの地域の伝統と味を感じ取れる場所となっている。

みずほの村市場 茨城県つくば市（総合食料品小売店）

農業だけで生計を立てることができるプロ農家の農産物直売所

農家は自分で生産した農産物の価格を自分で決められないことに疑問を持った代表者が、農業だけで生計がなり立つ直販所づくりを始めた。

野菜や果物の本来のおいしさを持っている「本物の農産物」を消費者の皆様へ安定供給する為には、農家が再生産できるような適正価格で販売しなければならないと考えている。売場では同じアイテムを複数の農家が出品するが、価格競争は行わず、生産コストに利益を乗せた適正価格を自ら設定する。より高く販売するために品質と味の向上に出品している農家全員が挑戦している。

特に、新しく参加した農家は、先輩達よりも高く単価を設定することが義務づけられている。同じ売場でお客様に選択してもらうためには品質と味で勝負することが必要であるとの認識を若い生産者に植え付けることになった。

消費者に対しては、農業体験や伝統行事体験など、みずほの村市場が提供する「本物の農産物」への理解が深められるイベントを開催している。



掲載内容は「令和元年度優良経営食料品等表彰事業 受賞店の概要」より一部抜粋したものです。
全文はホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

農林水産統計情報

令和2年4月～令和3年3月までの公表予定より

(https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index_nenkan_r2-5.pdf)

農林水産省（大臣官房統計部及び各局等）が公表している農林水産統計について、令和3年1月に掲載が予定されている生産・流通に関する資料名を紹介します。

資料名	収録内容	担当課（室）
大臣官房統計部		
・令和2年産もも、すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量	全国・都道府県別の結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量	生産流通消費統計課
・令和2年産てんさいの作付面積及び収穫量（北海道）	北海道の作付面積、10a 当たり収量及び収穫量	生産流通消費統計課

令和2年度 生鮮取引電子化推進協議会 オンラインセミナーの配信について

当機構が事務局を務める「生鮮取引電子化推進協議会」で下記日程でオンラインセミナーを開催しました。動画サイトで当日のセミナーを配信をしていますので、テキストと併せてご覧下さい。

①令和2年11月27日 株式会社フーディソン 代表取締役 CEO 山本 徹 氏	「IT利用による水産業プラットフォームの再構築」 ＜動画 URL・二次元コード＞ https://www.youtube.com/watch?v=rTKo-PO_SXc ＜テキスト＞ http://www.ofsi.or.jp/file/kyougikai/ksemi/R2/rep1.pdf	
②令和2年11月30日 (公財) 食の安全・安心財団 常務理事 中村 啓一 氏	「新たな原料原産地表示制度の解説 ～消費者が知りたい情報と生産者が伝えたい情報～」 ＜動画 URL・二次元コード＞ https://www.youtube.com/watch?v=1N8YnhDOVx8 ＜テキスト＞ http://www.ofsi.or.jp/file/kyougikai/ksemi/R2/rep2.pdf	

編集後記

- ▶ あっという間に年末となりました。経済を活気づかせるはずの GOTO キャンペーンは一時中止となってしまう、コロナ禍となつてかれこれ1年、まだまだウイルスには勝てないのかと思ってしまう。
- ▶ そんな中ですが12月11日に無事「第5回輸出に取り組む優良事業者表彰」の表彰式典が執り行われました。受賞者の皆様おめでとうございます。皆様の取り組みは機構ホームページに掲載しています。併せてご覧下さい。
- ▶ 今月号がお手元に到着するのは新年となるかと存じます。少々早いですが、令和3年もどうぞよろしくお願いいたします。(A)